

3月3日：肥料関連銘柄が急騰し、ベトナム株は5日続伸

ホーチミン市場のVN指数は水曜日、朝方に0.38%下落した後、切り返し5日続伸となった。同指数は0.03%と小幅高の1,186.95ポイントで引けた。

値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、上昇が270、一方で下落は168だった。64銘柄は変わらずだった。

売買高は6億2,877万株以上、売買代金は15兆1,500億ドンとなり、後場に再び取引システムに負荷がかかった。

「VN指数は朝方に調整し、大引に値を戻すかもしれない。マーケットでは今後1,200ポイント水準を超えるため、値を固めるための多くの時間が必要だ」（バオベト証券のデイリーレポート）

「新型コロナの押さえ込み、世界市場の上昇トレンドがマーケットの支援材料になった」（バオベト証券）

だが、多くの大型株が下落し、利益確定売りは依然としてマーケットの重しとなった。

ホーチミン市場の大型株30銘柄に連動するVN30指数も0.07%高の1,195.6ポイントだった。同指数は朝方0.37%下げた。同指数採用銘柄のうち11銘柄が上昇、15銘柄が下落した。

不動産株と銀行株はなおマーケットのトレンドに影響を与えた。

マーケットへの寄与度上位5銘柄は、ベカメックス IDC (BCM) +5.35%、ベトインバンク (CTG) +1.58%、VPバンク (VPB) +2.09%、ノブランド不動産投資グループ (NVL) +2.65%、ビンコムリテール (VRE) +2.31%だった。

またこの日は肥料関連銘柄が大幅高し、ビナケム DAP (DDV) +14.75%、ラムタオ化学肥料 (LAS) +10%、ペトロベトナム・カマウ肥料 (DCM) +6.69%、ドゥックザン化学 (DGC) +6.98%と上昇。

一方でビンググループ (VIC)、ビンホームズ (VHM)、ベトコムバンク (VCB) は振るわず、同指数の重しとなった。

ハノイ市場では、HNX 指数が 2.48% 高の 254.1 ポイント。HNX30 指数は取引初めに下げたが切り返し、0.56% 高の 375.61 ポイントだった。

国内投資家は約 2 兆ドンを買い入れ、売買高は 1 億 3,110 万株を超えた。

概して、マーケットの出来高は多く、全体の売買高は 8 億 2,190 万株 (UPCOM で取引された株も含む)、売買代金は約 18 兆 2,000 億ドンだった。

一方、外国人投資家は昨日に続き、両市場 (ホーチミン・ハノイ市場) で売り越した。売買代金はホーチミン市場で 4,719 億 5,000 万ドン、ハノイ市場で 76 億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。